

観客数:4460	開始時刻:13:00	終了時刻:14:59	試合時間:1:59	主審:千代延 靖夫	副審:西中野 健
----------	------------	------------	-----------	-----------	----------

JTサンダース



監督 : ヴコヴィッチ ヴェセリン

コーチ : サトレル ティネ

通算 : 8勝6敗

ポイント : 27

3	25	第1セット [0:23]	18	1
	24	第2セット [0:29]	26	
	25	第3セット [0:24]	19	
	25	第4セット [0:27]	23	
		第5セット []		

 ポイント 3 【】内はセット時間 ポイント 0
 ()内は交代選手

FC東京



監督 : ロディ アレックスandro

コーチ : 坂本 将康

通算 : 3勝11敗

ポイント : 9

<監督コメント>

天皇杯からの中断期間を経て、一つ目の試合はいつも難しい試合になるが、今日も難しかった。

なかなかリズムがつかめなかったが、最終的にポイント3を取ることができた事に対して、選手たちにおめでとうと言いたい。

毎年、グリーンアリーナで行われる試合は、いつも最高の雰囲気の中で試合をすることができている。本日も素晴らしい。

チームを代表してファンの皆様へは御礼申し上げます。ありがとうございました。

<監督コメント>

本日はご来場いただきありがとうございます。

今日は試合の準備ができていたところを見せたかった。

とても難しい試合になるとことは分かっていた。JTは天皇杯で優勝したので、私たちはあきらめることなく、ベストを尽くせました。

今日のプレーには満足しております。

25	山本	イトガー	第1セット	小田嶋	手塚(野瀬)	18
	安永	小野寺		長友(小森)	山田(要)	
	深津	劉		デロッコ	栗山(玉宅)	

リベロ: 井上(航)

リベロ: 橘

24	イトガー	小野寺	第2セット	栗山(玉宅)	デロッコ	26
	山本	劉(武智)		山田(要)	小森(佐藤)	
	安永(久原)	深津		手塚(野瀬)	小田嶋	

リベロ: 井上(航)

リベロ: 橘

25	劉	深津	第3セット	小田嶋	手塚	19
	小野寺	安永		小森	山田(要)	
	イトガー	山本		デロッコ	栗山(玉宅)	

リベロ: 井上(航)

リベロ: 橘

25	深津	安永(久原)	第4セット	小森(佐藤)	小田嶋	23
	劉	山本		デロッコ	手塚	
	小野寺	イトガー		栗山(玉宅)	山田(要)	

リベロ: 井上(航)

リベロ: 橘

3			第5セット			0

リベロ:

リベロ:

<要約レポート>

第1セット、天皇杯で優勝して勢いに乗るJTサンダースは序盤から劉、エドガーの高く強烈なアタックでFC東京を一気に突き放した。一方のFC東京はデロッコがアタック、ブロックを連続で決めて流れを取り戻そうとしたが、序盤の差が大きく、JTが第1セットを先取した。

第2セット、FC東京は出だしからデロッコのサービスエース、山田のブロックが連続で決まり、流れを掴んだ。JTはエドガー、小野寺のアタックで徐々に追い上げると、リベロ井上の粘りのレシーブから小野寺がアタックを決めて12-12として、遂に追いついた。そこからは一進一退の攻防を繰り返して、デュースにまでもつれたが、ここからFC東京がデロッコにボールを集めて、このセットを奪い返した。

第3セット、今度はJTがエドガーの連続ブロック、アタックで序盤から突き放していく。FC東京が小田嶋のブロック、デロッコのアタックで追いつくも、JTは終盤に深津、小野寺がブロックを決めて、逃げ切った。

第4セット、FC東京は小田嶋が連続でサービスエースを決め、さらにデロッコ、栗山がアタックを決めてリードを奪った。しかしJTは深津がツースパイク、山本、小野寺のアタックで徐々に点差を詰めて、エドガーがアタックを連続で決めて追いついた。さらにJTは劉がアタック、ブロックを連続で決めてリードすると、最後は小野寺がアタックを決めて、会場を緑色に染めた広島のファンに勝利をプレゼントした。

作成者： 廣重 理恵